

預かりペット対応時の防護策

この提案は2020年6月4日時点の情報に基づいて作成しています。
今後、新しく得られた情報により、内容が更新されることがありますので、
あらかじめご了承ください。
また、個別具体的な事象への判断を行うものではありません。



公益社団法人東京都獣医師会
危機管理室 感染症対策セクション



預かりペット対応時の防護策



- * 新型コロナウイルス感染患者の飼い主から、犬猫を預かる場合、預かり側の感染防護が重要です。
- * 防護服を着用した上で、シャンプーや日常ケアをすることが望まれますが、防護服は市場で不足しており、手に入りにくい状況です。
- * そこで代替策として、入手しやすいビニール袋で作る簡易防護服と、使い捨てレインコートを利用した防護対策をご紹介します。



簡易防護服の作り方

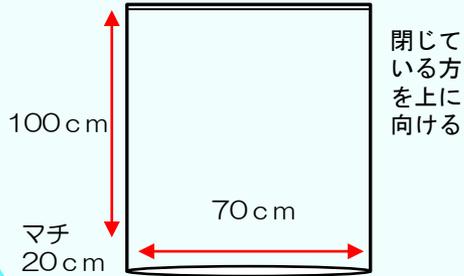


- ・用意するもの ① 90ℓのポリ袋（ゴミ袋）1枚（胴体用） ② 20ℓのポリ袋（ゴミ袋）2枚（袖用）
- ③ガムテープ ④はさみ ⑤セロテープ
- ・制作所要時間 10分程度

大阪大学医学部附属病院
「新型コロナウイルス感染対策用ガウンについて」を
一部参考にしています

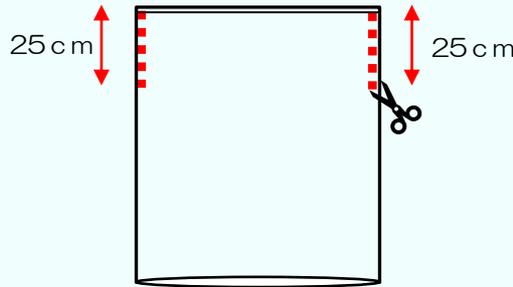
1) 身ごろを作る

90ℓの袋を机の上に
広げて置く

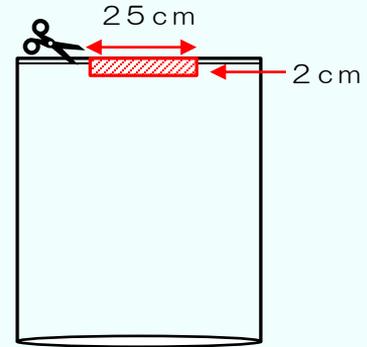


2) 袋の左右に袖穴を作る

(25cm)をはさみで切る

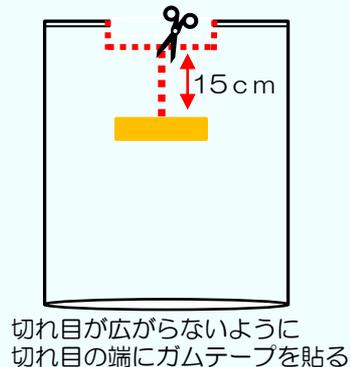


3) 首部分をはさみで切る



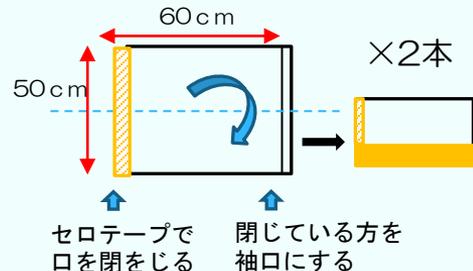
4) 着脱しやすくする

背側(片面だけ)に
15cmの切れ目を入れる



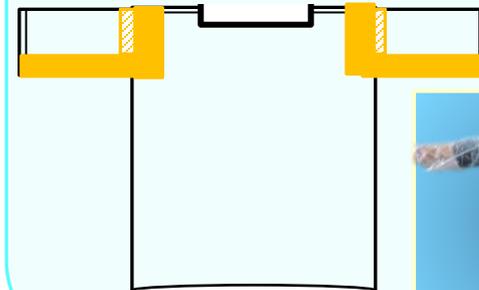
5) 袖を作る

20ℓの袋を二つに折り、
ガムテープでとめ筒にする
同じものを2本作る



6) 身ごろ袋に両袖をつける

袖を身頃に少し入れ込んで
ガムテープでとめる





簡易レインコートの利用



- * 100円ショップなどで販売している使い捨てのレインコートを**前後逆に着て**、シャンプーの際の簡易防護着として利用



簡易 レインコートの一例



前後逆に着ると、フードが前にくるので内側に入れ込むか、切り落としてご使用ください。



袖口は筒形タイプとゴム入りタイプの2種類ありますので、使いやすいタイプをお選びください。

※ご紹介した制作手順や材料などは参考例の一つです。素材や製法については、入手できる物、作りやすい方法で適宜お試しください。



ペット取り扱い時の防護レベル例

| レベル | | 装 具 |
|-----|-------|--|
| 強 | ★★★★★ | ゴーグル（フェイスシールド）、キャップ、長袖ガウン+グローブ（袖口をガムテープで補強）、サージカルマスク |
| 中 | ★★★★ | メガネ、長袖ガウン、グローブ、サージカルマスク |
| 弱 | ★★★ | メガネ、エプロン（袖なしガウン）、グローブ、サージカルマスク |
| 簡易 | ★ | 通常医療着に洗える上着 グローブ、サージカルマスク |
| 通常 | ☆ | 通常医療着（ケーシー、ナースウエア）のみ 作業によりグローブを装着 |

★★★★★

★★★★

★★★

★

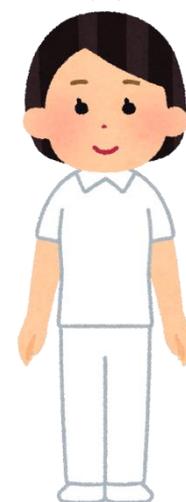
☆+グローブ

☆

患者宅への立入りや挿管・採材などリスク行為を行う際は袖口とグローブをガムテープで隙間なく補強。



ガムテープの端を折り返しておくとしやすい





ペット取り扱い時の防護レベル例



飼い主宅への訪問
動物の引取り
預り直後のシャンプー
採材

★★★★★

検疫期間中の
給餌・給水、飼育環境
の清掃・排泄物の処理



★

検疫期間中の検査・
治療・シャンプー



★★★★



★★★

検疫期間後の給餌・給水・
飼育場所の清掃・
シャンプー・トリミング
排せつ物処理時は
グローブ装着



☆



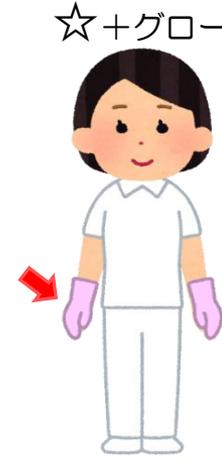
☆



ペット取り扱い時の防護レベル例

| レベル | | 感染者と接触 | 感染者代理人と接触 | 感染者飼育動物(除染前) | 感染者飼育動物(除染後) | 感染者飼育動物(検疫期間中) | 感染者飼育動物(検疫期間後) |
|-----|-------|--------|-----------|--------------|--------------|----------------|----------------|
| 強 | ★★★★★ | ○ | | ○ | | | |
| 中 | ★★★★ | | ○ | | ○ | ○ | |
| 弱 | ★★★ | | | | ○ | ○ | |
| 簡易 | ★ | | | | | ○ | ○ |
| 通常 | ☆ | | | | | | ○ |

平時においても排せつ物処理の作業をする際はグローブを装着しましょう！





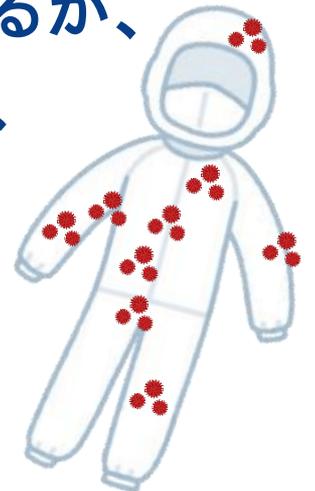
PPPEの着脱で大切なこと

それは脱ぎ方です。

PPPEは使用した表面に病原体が付着していることが考えられます。

そのため、脱ぐ際には汚染が起きないように、慎重に脱ぐ必要があります。

できれば補助の人が脱ぐ際の順序が守られているか、汚染が起きそうになっていないかなどを注意し、声を掛け合って脱ぐといいでしょう。



次頁から手順の一例を示します。

1. あらかじめ廃棄するための蓋付の容器を用意します。ビニール袋を内側に入れて縁を蓋の外に出しておきます。



2. 脱ぐ場所は清浄区域以外の場所で行います。

3. 先に、袖口とグローブを留めていたガムテープを剥がします。次に、ガウンを手袋もろとも脱ぎます。

①②③

ガウンの紐を外します。図のように横で結んでいる場合は、自身で外して構いませんが、後ろで結んでいる場合には、補助の人に外してもらおうといいでしょう。



※説明用の写真では、先にグローブを外しています。



4. 肩のところを持って肘までずらし、どちらかの手で、もう片方のガウンの腕部分を持ってグローブごと脱ぎます。この操作はガウンの外側から行います。

5. 脱いだ手で、汚染している側を触らないようにくるくる丸めながら、今度は反対側の手も同様に脱ぎます。その際はガウンの内側から操作を行うよう注意してください。

6. 両方の腕を脱ぐことができたなら、体から離して手を伸ばした状態でさらにガウンを丸めてしまいます。

※説明用の写真では、先にグローブを外しています。



④

⑤

⑥

⑦

肩から脱ぎ下ろす

外側を内側にして巻き、たたむ

廃棄する

7.



丸めた
ガウンは
蓋付の容器に
廃棄します。



8.

一度
手指を
消毒します。



9.

キャップの外側を触らない
ように脱ぎ、内側を持って
蓋付の容器に廃棄します。



10.

アイシールドを外側を
触らないように外し、
蓋付の容器に廃棄します。



11.

マスクも表面を
触らないように外して、
蓋付の容器に廃棄します。



n95マスクの場合は、
マスクが反転して
顔にぶつからないよう
注意しながら、下側のゴムを
はずし、次いで上側のゴムを
外して廃棄します。



12.

終わったら
すぐに手指を
消毒します。



13.

廃棄したPPEは
ビニール袋の外側を持って
結んで廃棄するか、
消毒液を入れて浸漬します。

